

こちらの建物は二酸化炭素消火設備が設置されています

二酸化炭素消火設備の誤放出 に注意してください

令和3年4月15日、東京都新宿区のマンションの地下駐車場で不活性ガス消火設備の消火剤（二酸化炭素）が誤放出され、死者4名、負傷者2名を出す事故が発生しました。

皆さまの建物で同様の事故が発生しないようご注意ください。

建物の関係者（住人・従業員・警備員等）の皆様へ

- 火災の場合以外には、消火ガス放出用の手動起動装置に触れないでください。
誤って、手動起動装置の操作扉を開け音響警報装置が作動した場合は、扉を閉め、点検業者などに復旧しているかの確認を依頼してください。
- 消火ガスが噴出される旨の音響警報装置が作動した場合は、ただちに防護区画の外へ退避してください。
- 消火ガスが噴出される旨の音響警報装置が作動した場合に、消火ガスが噴出される防護区画内やその周辺に建物利用者がいる場合は、ただちに退避するよう促すとともに、防護区画に近寄らないよう周知してください。
- 消火ガス放出用の手動起動装置を押した場合でも、あらかじめ決められた時間内(※)であれば、手動起動装置の中にある停止スイッチを押すことで消火ガスの放出を停止できます。
※二酸化炭素ガスを放出するものの場合、最短 20 秒間は放出されないよう設定されています。
- ガス系消火設備に何らかの異常を確認した場合には、点検業者などに速やかに連絡してください。

○二酸化炭素消火設備についてのQ & A

Q 1 : 二酸化炭素消火設備とは、どのような設備ですか？

A : 二酸化炭素消火設備は主に窒息消火により火災を鎮火させるための消火設備で、固定式と移動式があります。

Q 2 : 二酸化炭素消火設備は、どのような建物に設置されていますか？

A : 二酸化炭素消火設備の特徴として、消火に伴う汚損が少なく、電気絶縁性があることから、一定規模以上の通信機器室、電気室、ボイラー室、駐車場などに設置されています。

Q 3 : 二酸化炭素消火設備の消火剤は、どのようにすると放出されますか？

A : 以下の2通りがあります。

- ①手動起動装置（操作箱）の手動起動ボタンを押すと放出する場合
- ②自動火災報知設備の感知器の作動と連動して放出する場合

Q 4 : 二酸化炭素消火設備が作動した場合、どのような危険がありますか？

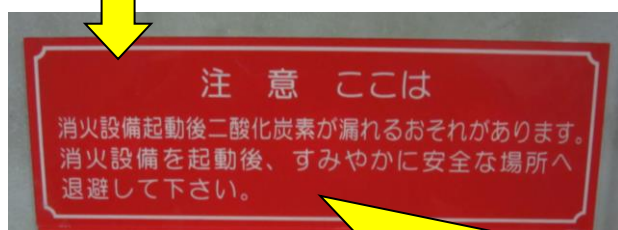
A : 消火剤である二酸化炭素には毒素（麻痺性）があるため、高濃度の二酸化炭素を人が吸うと即時に意識喪失し、酸素欠乏症に陥り死に至る危険性があります。

なお、安全のため二酸化炭素消火剤の放出前には、音声による警報が行われます。

Q 5 : 主な二酸化炭素消火設備の誤放出の原因はなんですか？

A : 二酸化炭素消火設備の手動起動ボタンを誤って押してしまったことや、建物改修工事等において二酸化炭素消火設備の配線等を誤って損傷させてしまったこと等により、誤放出してしまったという事故が多く発生しています。

○二酸化炭素消火設備の手動起動装置の例



標識

二酸化炭素消火設備が設置されている場所には、標識が掲示されています。

手動起動装置

内部に手動起動用のボタンが格納されています。

火災の時以外絶対に押さないでください。



停止ボタン（非常用停止ボタン）

誤って手動起動装置を押してしまった場合など、20秒以内であれば、このボタンを押すことで二酸化炭素の放出を停止できます。

○お問い合わせ先（ご不明な点につきましては、管轄の消防署へお問い合わせください。）

消防本部予防課・消防署本署：0743-73-0119

南分署：0743-76-0119

北分署：0743-79-0119

生駒消防

検 索

生駒消防HP

<https://city.city.ikoma.lg.jp/category/15-0-0-0-0.html>

